

# 安達太良山

## 概況

火山活動は穏やかに経過しました

### ・噴煙活動(図2)

遠望観測(監視カメラ:沼ノ平火口から西北西へ約8km)で、沼ノ平火口の噴気は、1月に高さ50mを観測して以降観測されていません。

### ・地震活動(図3~4)

火山性地震は、少ない状態が続いています。  
火山性微動は観測されませんでした。

### ・地殻変動(図5~6)

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

### ・熱活動(図7~9)

5月24~25日と10月18~19日に、現地観測を実施しました。沼ノ平火口付近の噴気、地熱の状況に異常はみられませんでした。

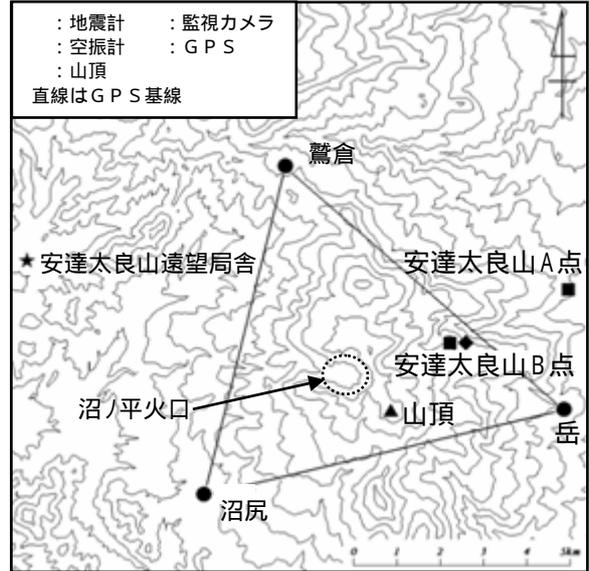


図1 安達太良山火山観測点配置図

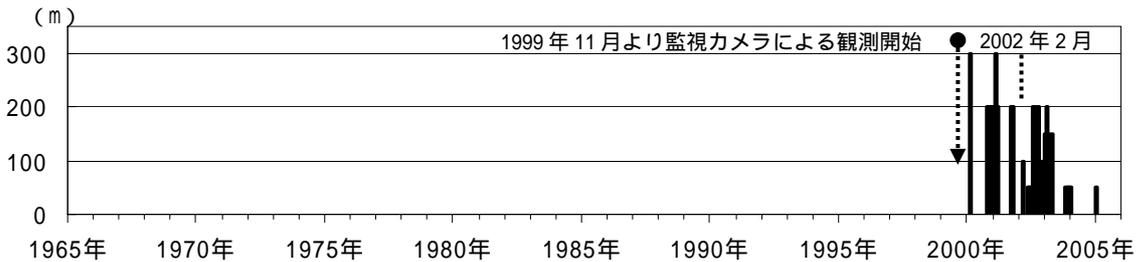


図2 安達太良山(沼ノ平)月別噴気高(1999年11月~2005年12月)

2002年2月以前は定時(09時,15時)及び随時観測による高さ。  
2002年2月以降は全ての時間を収録データから観測した高さ。

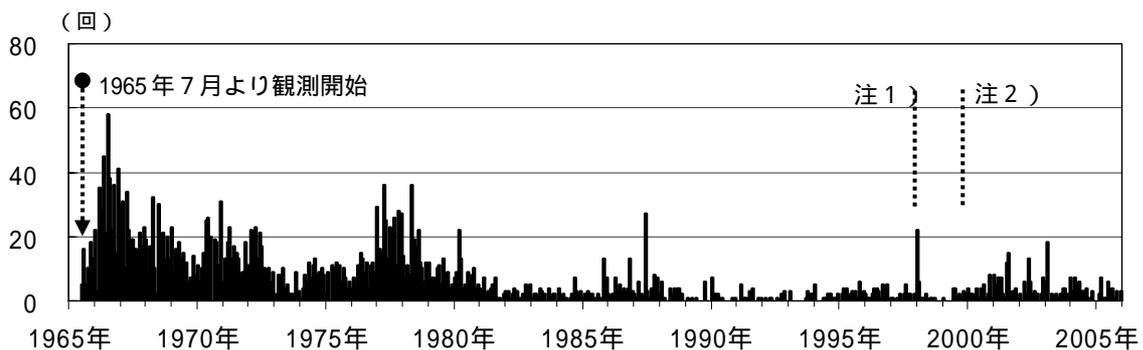


図3 安達太良山月別地震回数(1965年7月~2005年12月)

注1) 1998年より検測基準変更(S-P5秒以下からS-P2秒以下に変更)  
注2) 1999年10月に観測点移設(沼ノ平火口の東北東約5kmから東約4kmへ移設)

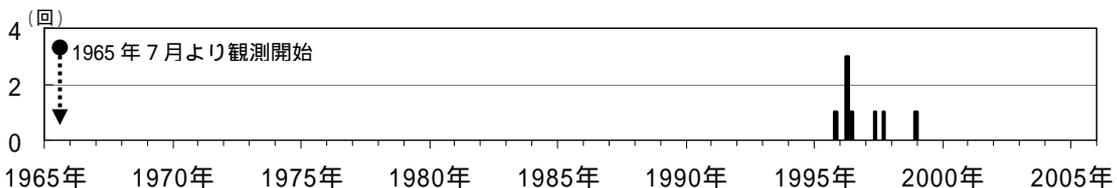


図4 安達太良山月別微動回数(1965年7月~2005年12月)

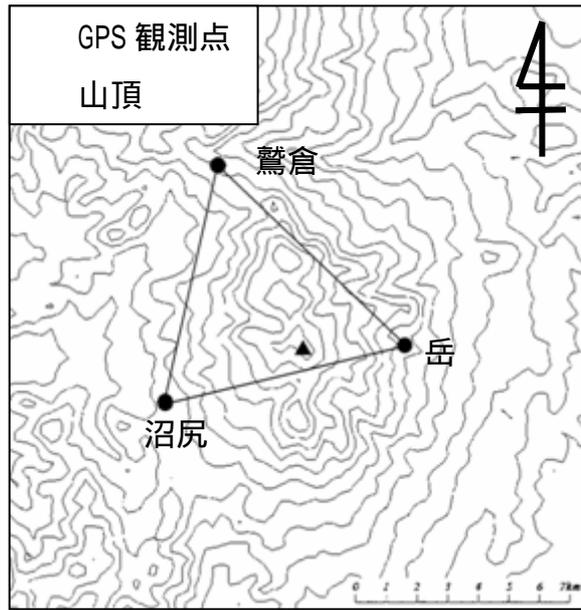


図5 GPS 基線

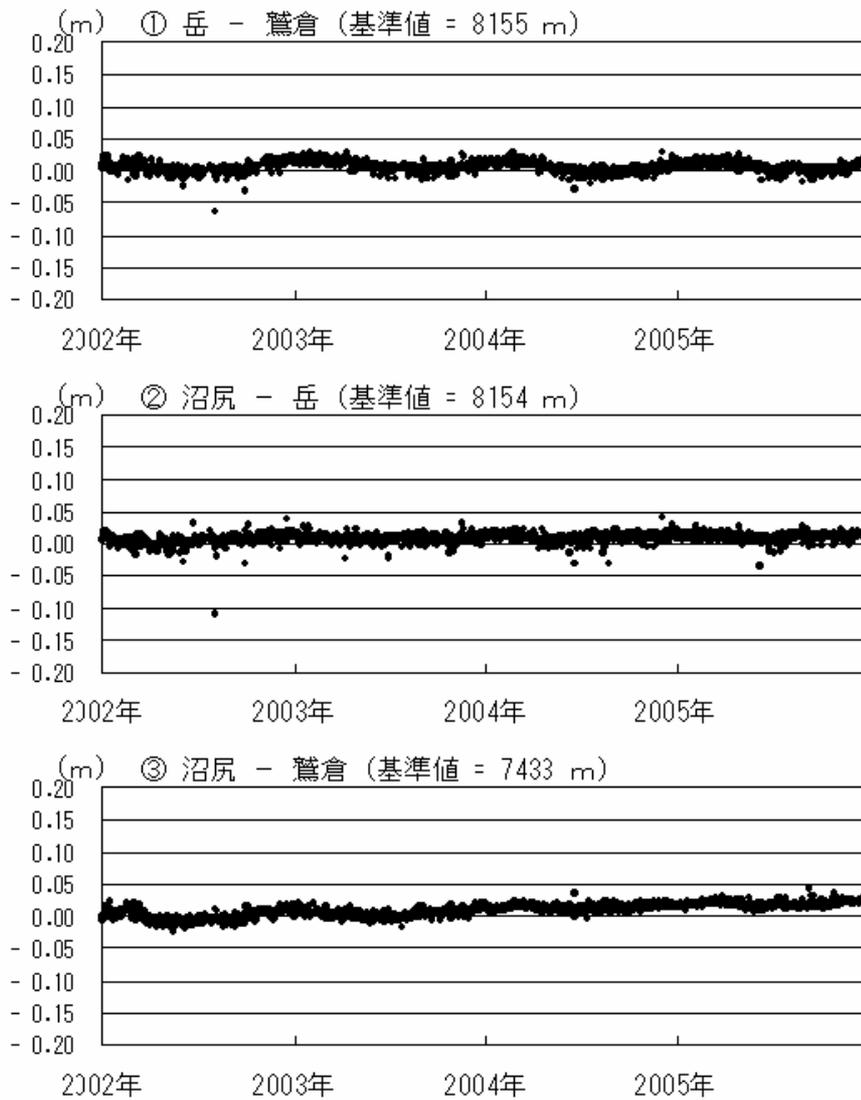


図6 GPS 基線長変化図(2002年1月~2005年12月)

**現地観測の結果**

5月24～25日と10月18～19日に沼ノ平火口を中心に現地観測を実施しました。沼ノ平火口付近の噴気活動は全般に低い状態で、噴気の高い所(Y-3上部)で5m前後でした。赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測では、引き続き沼ノ平南西変質地帯(Y-3)付近に地熱の高い領域が解析されましたが、熱異常領域及び噴気温度<sup>2)</sup>とも前年と比べ変化はありませんでした。

また、沼ノ平火口中央(Y-1)の噴気は今回も停止しており、地中温度<sup>2)</sup>も低い状態で、引き続き静穏の状態が続いています。

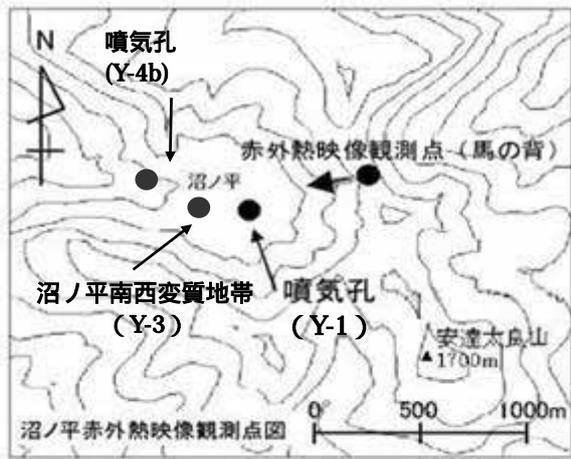


図7 沼ノ平 赤外熱映像観測点図  
(国土地理院 数値地図 50m メッシュ(標高)を使用)

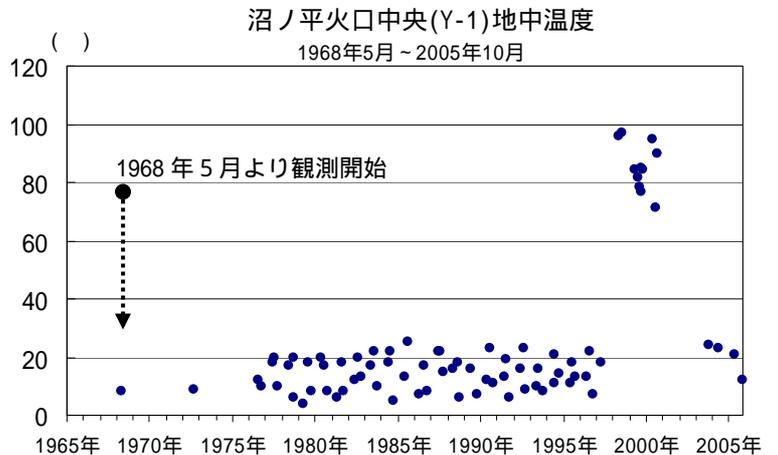
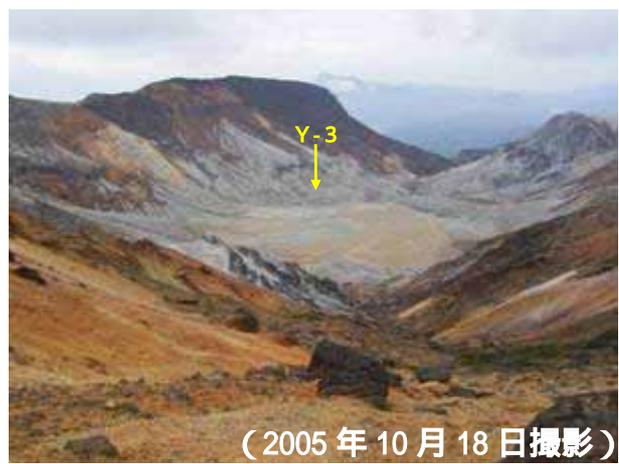


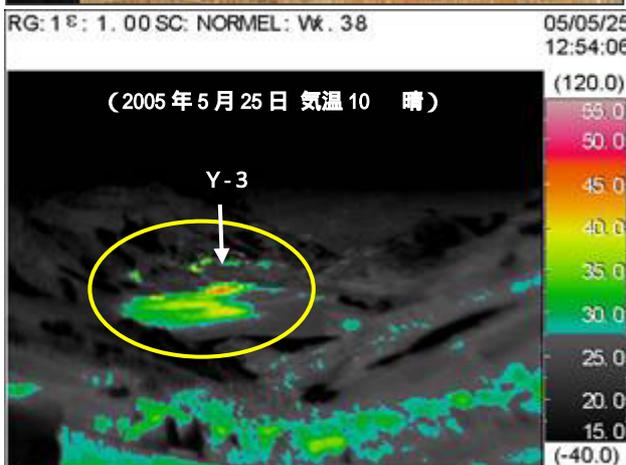
図8 沼ノ平火口中央(Y-1)の地中温度の変化図



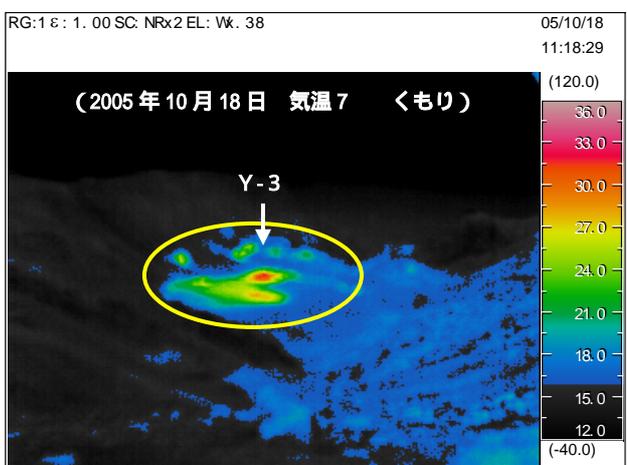
(2005年5月25日撮影)



(2005年10月18日撮影)



(2005年5月25日 気温10 晴)



(2005年10月18日 気温7 くもり)

図9 沼ノ平の可視画像(上)と赤外熱映像画像<sup>1)</sup>(下)

(熱映像画像の円で囲まれた範囲以外の色のついた個所は日射の影響によるものです。)

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーマスタ温度計で測定。サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。